

令和2年度

事業報告書

社会福祉法人

報恩積善会

令和2年度 事業報告書

1. 事業成績関係

社会福祉法人 報恩積善会

(1) 入退所状況

(令和3年3月31日現在)

区分	男性	女性	計	備考
前年度繰員	21	47	68	
令和2年度入所	6	6	12	
計	27	53	80	本年度取扱人員
令和2年度退所	1	1	2	
令和2年度死亡	3	7	10	
計	4	8	12	本年度取扱減人員
令和2年度末現在	21	47	68	次年度繰人員
令和2年度入所取扱人員			80名	
令和2年度入所延人員			23,636名	

(2) 創立以来の入退所状況

区分	入所人員	退所人員	死亡人員	現在人員
男性	602	242	329	21
女性	702	234	415	47
計	1304	476	744	68
創立以来入所実人員			1,304名	
創立以来入所延人員			1,873,230名	

(3) 実施機関調べ

委託機関	男性	女性	計
岡山市	11	37	48
総社市	2	1	3
倉敷市	2	1	3
瀬戸内市	1	0	1
新見市	1	4	5
真庭市	0	0	0
美作市	1	0	1
津山市	1	0	1
和気町	1	0	1
美咲町	3	2	5
計	23	45	68

(4) 利用者の前住所状況

前住所区分	男性	女性	計	割合
居宅から入所	3	2		%
病院から入所		2		%
他施設から入所	2	2		%
その他				%
計				%

(5) 年齢構成

	64才 以下	65才 ～69才	70才 ～74才	75才 ～79才	80才 ～84才	85才 ～89才	90才 ～94才	95才 ～99才	100才 以上	計
男	0		9	4	5	6				24
女	1		5	9	9	14	4	2		44
計	1		14	13	14	20	4	2		68
最高年齢	男性 87 才 女性 96 才									
平均年齢	男性 78.0 才 女性 82.6 才 男女平均 80.9 才									

(6) 年金受給状況

	国民 年金	厚生 年金	老齢福 祉年金	遺族 年金	障害者 年金	恩給	共済	労災	厚生年 金基金	無	計
男	4	16	4		5		2				31
女	16	23	11	1	7				1	2	61
計	20	39	15	1	12		2		1	2	92

(7) 死亡原因

	癌	老衰	白血病	肺炎	脊髄炎	心不全	その他		計
男				1		1			2
女		3				1	1		5
計									

2. 地域福祉関係

(1) 老人短期入所事業

種類	利用者数	延日数	委託機関	利用料（一泊）
ショートステイ	(男) 名	(男) 名	岡山市 (定員1名)	生活保 3,760円
	(女) 名	(女) 名		その他 2,030円
短期入所自主事業	(男) 5名 (女) 4名	(男) 71日 (女) 19日	自主事業	2,030円
計	9名	90日		

(2) ショートステイ利用状況

年 月	利用者数	延日数
R2年4月		
5月	1	3
6月	2	5
7月	2	9
8月	1	8
9月	1	2
10月		

年 月	利用者数	延日数
11月		
12月	1	7
R3年1月	4	36
2月	1	20
3月		
計	13	90

(3) 配食・会食サービス実施状況

種類	実施形態	利用者数
配食サービス	毎週月・水・金曜日の昼食	11名
会食サービス	毎日・毎食可	5名

(4) 施設の貸与

3. 処遇関係

(1) 主な年間行事実施状況

令和2年4月	ひな祭り・お花見・お花見ドライブ
5月	
6月	大掃除
7月	夏祭り・蓮見学
8月	七夕祭り・盂蘭盆・納涼の夕べ
9月	敬老の日・創立記念日

10月	運動会・検診・ほうせき☆祭り
11月	
12月	クリスマス会・忘年会・餅つき・すす払い・門松づくり
令和3年1月	新年会・初釜
2月	節分会
3月	彼岸会・健康診断

コロナウイルス感染症の為、地域主催の各行事は、ほぼ中止となった。施設内行事も規模を縮小して開催した。

(2) 月間行事実施状況

誕生会、売店、喫茶、移動図書、常会等については計画どおり実施できた。

給食会議、町別会議は廃止し、担当職員が意向を確認、常会で検討した。

(3) クラブ活動実施状況

種別	参加者数	回数	種別	参加者数	回数
リハビリ体操	全員	週1	カラオケクラブ	16名	月4
生け花クラブ	12名	週1	詩吟クラブ	7名	月2
俳句クラブ	1名	月1	手芸クラブ	5名	月2
ダンスクラブ	14名	月1	習字クラブ	7名	月1
茶道クラブ	4名	月1	園芸クラブ	2名	週1
押し花クラブ	10名	月1	音楽療法	全員	月1
水彩画クラブ	4名	月1	マイクラフト	2名	週2
輪投げクラブ	16名	月2			

俳句、カラオケ、詩吟、水彩画クラブ、マイクラフトについては地域住民も参加している。コロナウイルス感染対策の為、定期的に活動を休止、再開を繰り返した。

施設外活動実施状況

初詣、春・秋の墓参り、桜見物、ハス見物、紅葉狩り、イルミネーション見学等は、ドライブを兼ねて複数回に分けて実施し好評であった。感染対策の為、外部団体との交流は最小限にした。

(4) 入所者の健康管理

第1回定期検診(10月)、インフルエンザ予防注射(11月)、胸部レントゲン及び血液検査(3月)

4. 実習受け入れ状況

- ①介護等体験 0名 明誠学院高等学校 3名
- ②玉野総合医療専門学校 0名
- ③中学校職場体験 香和中学 0名 京山中 0名
- ④社会福祉協議会職場体験 0名

5. 職員の処遇

(1) 施設外研修

月	出張先	参加者	出張内容
6月	ZOOM	施設長	今日からできる！優しさを伝えるケア技法
7月	岡山市	施設長	感染対策研修会
8月	ZOOM	施設長	人材活性化プログラム CAP 無料説明会
9月	岡山市	栄養士	給食施設従事者研修会
10月	岡山市 岡山市	看護師 施設長	新型コロナウイルス感染症等 BCP 策定支援研修 施設管理者とつくる職員がやる気になる短期経営計画書と PDCA
11月	岡山市 岡山市 ZOOM ZOOM 岡山市	介護職員 3名 生活相談員 事務長 施設長 事務長	介護職種の技能実習指導員講習 外国銀技能実習制度における生活指導員講習 社会福祉法人向け「働き方改革」セミナー 老施協 養護老人ホーム 施設長会 子どもの居場所作りネットワーク交流会
12月	岡山市 ZOOM	事務長 施設長	生活困窮者自立支援事業関係機関研修会 中長期計画策定セミナー
1月	岡山市	看護師	喀痰吸引等指導者研修
2月	ZOOM 岡山市 瀬戸内市 岡山市 ZOOM	事務長 施設長 介護職員 事務長 事務長	コロナ禍における地域での認知症カフェ 触法高齢者・障害者支援研修会 特別養護老人ホームせとうち 施設見学 支え合い活動交流会 中小企業家同友会南支部例会
3月	ZOOM ZOOM ZOOM 岡山市	事務長 施設長 施設長 施設長	福祉施設における BCP セミナー 岡山県老施協 介護報酬改定セミナー 共生型サービスはじめの一步研修会 岡山県防災・福祉対応力向上研修意見交換会

(2) 施設内研修

実施回数	研修名	対象者
------	-----	-----

毎日	朝礼と職種別ミーティング カンファレンス	出勤職員全員 担当職員
毎月	職員会議	出勤職員全員
毎月1回 年1回(3月)	常会 事業計画会議	職員と入所者 全職員
年2回(7・11月)	防火避難訓練 災害時避難訓練	職員と入所者 〃
年1回(2月)	(職員研修)	
5月	感染予防について	
6月	食中毒について	全職員
7月	看取りについて ルールと評価について	〃 〃
8月	ルールと評価について	〃
9月	新型コロナと感染症予防について 尿道カテーテル管理について	〃 〃
10月	車いす利用者の移乗について	〃
11月	ノロウィスの吐物処理について	〃
12月	塩分とカリウム制限の必要性	〃
1月	精神疾患の方への対応について	〃
2月	虐待防止について	〃
3月	環境改善とルールについて	〃

(3) 職員健康管理

全職員に年1回定期健康診断を実施し、夜間勤務のある職員は年2回行った。また、調理員には、毎月1回の検便とノロウィルス対策の検便を実施した。11月にはインフルエンザワクチンを接種した。

(4) 広報活動・情報公開

入所者、家族、後援会会員を対象に広報「ほうせき」を年1回発行。また「HOUSEKI NEWS LETTER」を発行し、入所者の取り組みや公益的な取り組みについても広報を行った。併せてホームページを活用し活動の予定や報告、財務諸表の公開など積極的な情報開示を行った。また Facebook のページを作成し、日常の活動や入所者や職員の取り組みについて広報を行った。

利用者の苦情解決のために、第三者委員会を設置しているが、第三者委員を交えての問題解

決事項はなかった。日々の悩みや相談があればその都度個別に聞き取り、話をしながら改善を行った。

(5) 福利厚生

職員親睦会助成、独立行政法人福祉医療機構、岡山県民間社会福祉従事者共済制度・育成制度、福利厚生センター、岡山市勤労者サポートプラザへの加入を継続し職員全体の福利厚生の充実を図った。資格取得、自主的な外部研修への参加希望の職員に対して勤務調整や参加費等の助成を行った。

6. 栄養管理

栄養基準量を定め、献立は入所者の希望を取り入れた。また、嗜好調査や日々の残菜調査を実施、味付け、盛り付けを工夫し旬の食材を積極的に取り入れ季節感のある食事を提供した。

食事はカフェテリア方式を基本とし、元気な方には好みに合わせて食事がとれるようにしている。また食事時間は毎食1時間設け、自由な時間で食事ができ、食堂内は装飾して明るく楽しく食事ができるように工夫している。

7. 地域における公益的な活動

コロナ禍の中感染対策を行いながら公益的な活動を継続している。

「ふれあい講座」を7月及び12月に開催。10名程の参加があり地域交流の場となっている。毎月第4金曜日は認知症カフェ「ほほえみカフェ」を開催。新型コロナの感染状況により中止する月もあったが、ボランティアの協力もあり毎回10名程度の参加者にて認知症の啓発と共に入所者も参加することで地域住民との交流の場にもなっている。また ZOOM にて包括支援センターの方に参加してもらう等、新しい取り組みも行った。

入所者の社会参加とやりがい作りで始めた「マイクラフト」も中止等あったが、地域の方も4名参加し週2回継続した活動を実施。4月より入所者の方がマスク作りも行い近隣の一人暮らしの高齢者や児童養護施設等へ寄付を行った。

ふれあいホール使用について外部への貸し出し、地域の祭りや行事もすべて中止となっており、また毎年恒例の「積善会まつり」も同様に中止とした。

津島生活学校（津島学区のボランティア団体）と協働し、毎月京山公民館で実施しているフードドライブで集まった物品を受け取り、近隣のこども食堂へ提供する中間支援の取り組みを継続。こども食堂だけでなく母子家庭の支援団体等幅広く物資を届けている。他団体との連携を図ると共につながりを作りながら地域の方への支援につなげることができた。

地域住民が運営し一緒に協働している「つしまみんな食堂」は、新型コロナの感染状況により施設内での開催は実施できていないが、場所を京山公民館に移して活動を再開。月2回程度の活動を続けており、報恩積善会もボランティアの周知、チラシの配布、物資支援等できる活動を継続している。